

個を生かす学年・学級経営アイデア集 1 日編

	朝 の 活 動	授 業 中	休 み ・ 給 食 の 時 間
視点1 個の存在を認め 個の存在を大切にす	○一人一人の表情や健康状態を観察し、適切な言葉かけをする。 ○朝の会では一人一人に具体的に身近な目標を数名に発表させ、互いの存在を認める。 ○できる限り多くの子に、温かみのある言葉かけをする。	○一人一人の実態を確実に把握し、その子に合った発問内容を工夫する。 ○発表の機会を多くする。また、発表内容を生かすように努める。 ○少人数の班学習を取り入れ、どの子にも活躍の場があるようにする。 ○消極的な子にはノートや宿題の中からよい点を見いだしほめ、励ます。 ○「君がいてよかったね」の視点から声をかける。	○触れ合いの時間をとりよさを認め、伸長する。 ○集団になじめない子には、教師と一緒に遊んだり、声をかけたりして存在を十分に認める。
視点2 個の特性を生かす	○自己紹介や相互紹介の場を設け、自他の違いを見付けるように心がける。 ○1日リーダーや行事リーダーを決め、特性を生かした活動の場を設ける。	○机間指導を行い、個別に支援する。 ○ワークシートを用いるなどして、個に応じた指導を多くする。 ○一人一人の発想・考えの違いを認めて、多様な考えができるようにする。	○授業中には見られない人間関係等を観察する。 ○異常体質の子に対して配慮する。
視点3 認知面と情意面の調和	○体験や社会の出来事の中から、感動したことを発表させる。 ○昨日のよい活動(学習・係活動・部活動)を話題に取り上げてほめる。	○自己評価を積極的に取り入れ、情意的側面の伸長に努める。 ○教育機器等を活用し、学習意欲を喚起する。 ○どんな答えでも安心して発表できる雰囲気を作る。	○VTR等で、生き生きと行動している様子を撮り、機会をとらえて自分や友人のよさに目を向けさせる。 ○授業では見えないよさを見だし、励ましや賞賛の言葉かけをする。
視点4 個性豊かな生活の基礎・基本	○教師としての信念や体験の中から感動したことを話し、よりよいものを求めようとする態度を育てる。 ○読書から得た感動を発表させる。 ○さわやかな気持ちで1日が過ごせるよう環境を整える。	○年度の節目をとらえて、基本的な学習の仕方や約束事について話し合わせる。 ○疑問や驚き、発見、感動したことなどを発表させ、情動的な面を大切にす。	○カウンセリング・マインドの心得を持って、接する。 ○楽しい食事ができるように環境整備に心がける。 ○食事のマナーについては年度の節目をとらえて話し合わせる。